

「日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加に関する申し入れ」を実施

連合北海道と北海道農民連盟、北海道退職者連合、D P I 北海道、北海道平和運動フォーラム、立憲民主党北海道、国民民主党北海道の7団体は、12月4日～17日の間に過去最大規模の4100人が参加しておこなわれる「日米共同訓練（レゾリュート・ドラゴン）」の規模縮小と、この共同訓練に組み込まれる在沖縄海兵隊のオスプレイの移転訓練中止を求め、12月1日に在札幌米国領事館と北海道へ、12月2日には防衛省に対し申し入れを行いました。

道へは、オスプレイの運用について「中止を国に求める」「情報の収集と公開」を求め、さらに「関係自治体と対応体制の構築」「共同訓練の規模縮小を国に求める」など六項目を申し入れました。

冒頭、連合北海道藤盛事務局長が「オスプレイの騒音・重低音は地域の基幹産業である酪農業に極めて悪影響を及ぼす。コロナ禍で生乳需要激減など非常に



大変な思いをされており、さらに負担を強いることは許されない。また、北方領土が隣接する北海道・根室でのこうした大規模な訓練は隣国ロシアを刺激し、「領土返還の解決」に向けた機運をそぐものである。」と述べました。引き続き、立憲民主党北海道梶谷幹事長が「共同訓練には一定程度の効果があっても、地域にとって十分な対応とはなっていない。また米軍のオスプレイは事故が多く危険性のある機体だ。運用には厳しさを持って望んでいただきたい。しっかりした情報開示をはじめ申し入れ事項により様々な対応を求める。」と指摘しました。

平和運動フォーラム佐藤環樹代表からは「オスプレイは飛行日時や飛行ルートなどの飛行計画が公表されていない。前回の共同訓練時にも訓練期間前にオスプレイが飛来した。飛行計画の情報開示は必要。



国に強く働きかけていただきたい。」と申し入れました。

対応した浦本副知事は「まずもって道民の皆様の安全・安心が確保されることが大前提。地域の産業事情から酪農家さんへの配慮した訓練時間や騒音の測定についても私から要請したところ。道としても周辺4町の皆様と連携をとりながら、出来る限りの訓練情報の開示について交渉し、地域の皆様

との共有を図り、道民の皆様の不安、支障が軽減されるように努めて参りたい。」と述べました。

防衛局への申し入れは連合北海道皆川道民運動局長が「安保法から5年がたち自衛隊と米軍の、ますますの一体化が進んでおり懸念している。これまでの矢白別演習場での強襲上陸を任務とする米海兵隊の移転訓練と大規模な日米共同訓練により、ロシアは北方領土への軍備配備をすすめている。共同訓練の規模縮小を求める。オスプレイ飛行については、米軍機にも飛行計画の提出義務はある。その情報を公開していないのは国交省と防衛省だ。ドクターヘリや防災ヘリも飛ぶ以上、飛行計画は開示すべきだ。」と、日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ運用の中止を申し入れるとともに、特にオスプレイについては情報公開と「低空飛行」「夜間飛行」は行わないこと申し入れました。



防衛局からは「陸上自衛隊及び米海兵隊がそれぞれの指揮に従い共同で作戦を実施する場合の連携強化と共同対処能力の向上を図るもの。また同時に沖縄の負担を軽減するものでありご理解いただきたい。期間中でも情報があれば速やかに関係自治体の皆様へお知らせしたい。オスプレイの飛行に際し、米軍は最大限の安全対策と日米間の合意を遵守するものと承知しており、本訓練においても地元の皆様への影響が最小限となるよう引き続き米側に求めて行きます。低空飛行、夜間飛行については隊員の技能維持・向上を図ること、即応体制という軍隊の機能を維持するうえで不可欠な要素であり御理解いただきたい。酪農地帯であるので搾乳時間に配慮するよう防衛省から求めています。」と述べました。

在札幌米国領事館では連合北海道藤盛事務局長が青森県での米軍 F16 戦闘機の燃料タンク投棄にもふれオスプレイの移転訓練の中止を申し入れ、対応したアンドリュー・リー総領事は「地域・地元からの大切な意見として承りました。在日米軍と大使館へ伝えます。訓練については安全第一がもちろんであり、オスプレイについては私が現地に行き確認したい」と述べました。

連合北海道は今回の日米共同訓練とオスプレイの参加に対し産別・地協・地区連合より、防衛大臣・外務大臣、在日本国大使館・在札幌米国領事館、北海道知事に対して打電行動を行いました。また、新型コロナウイルス感染予防の観点から集会・デモ行進等はありませんでしたが、啓発と世論喚起を促すため矢白別にオスプレイが飛来する12月5日から9日の間に、札幌市内及び近隣と、釧根地協による釧根エリア全ての市町村で流し街宣を行いました。

今後も連合北海道は、矢白別演習場への米海兵隊の実弾射撃移転訓練、また千歳基地への米空軍戦闘機訓練移転、そしてオスプレイが参加し規模拡大が続く日米共同訓練などに強く反対し、北海道の軍縮と平和の実現に向けた運動を強化していきます。

以上